

## 新看板は「人づくり革命」

標題は日本経済新聞 6 月 20 日朝刊「首相、再び経済最優先」と。リードから一安倍晋三首相は 19 日の記者会見で、経済最優先に再び回帰する考えを強調した。新たな看板は「人づくり革命」だ。学校法人「加計学園」の獣医学部新設計画を巡る問題などで生じた負のイメージを払拭し、政権浮揚につなげる。ただ内閣支持率が下がったところで「経済最優先」を強調する姿には既視感も漂う。人材投資は新味が乏しく、財源の確保も大きな課題だ。



「これまでの発想にとらわれない人づくり革命を断行する」。首相は神妙な面持ちで語っていた加計学園の問題とは打って変わり、力強い口調で人材投資を説明した。念頭に置くのは幼児教育の早期無償化や、高等教育の負担軽減だ。社会人が再び学校に通って技能を高める「リカレント教育」も拡充する。具体策は夏に有識者会議を立ち上げて検討する。

首相にはこれまで「経済重視」を強調して内閣支持率を挽回させた「法則」がある。2013 年、特定秘密保護法の成立後には成長戦略のてこ入れを表明。法人税の 20% 台への引き下げや保険診療と保険外診療を併用する混合診療の拡大などを決めた。15 年には集团的自衛権を認める安全保障関連法を成立させた直後に、誰もが活躍できる一億総活躍社会の実現を打ち出した。

だが、人材投資は中長期の政策だ。足元の経済を押し上げる即効性は乏しく、財源の壁もある。有識者会議を立ち上げて知恵を集めても、財源がなければ「絵に描いた餅」になりかねない。

この記事を読んで、2015 年 9 月 29 日の中日新聞特報「アベノ戦略 この道ばかり」を思い出した。10 月 3 日にレポートしたので、今でもよく覚えている。「選挙では経済政策前面」「国会ではタカ派姿勢」という見出し。安倍首相の記者会見での自信あがりな表情の写真。経済政策の目玉として掲げたのが「新三本の矢」。安倍首相は言いにくい「一億総活躍社会」という言葉を繰り返した。

今回も「経済最優先」で挽回できるのか。アベノミクスは色あせ、政策に新味も具体性もない。さらに「もり・かけ」疑惑で安倍首相、安倍政権は窮地に。もう騙されない。

(2017 年 6 月 23 日)